

令和4年度 第76回 卒業式 式辞

立山連峰から差し込む金色の光に包まれて、校庭のコブシのつぼみもふくらむ今日、立山町教育委員会教育長 杉田孝志様、PTA会長 山本智秋様のご臨席を賜り、保護者の皆様のご列席のもと、第七十六回卒業式を挙行できますことに、心から御礼申し上げます。

二百十八名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

先ほどは、マスクを付けていないみなさん一人一人の顔を見ながら、新鮮な気持ちで卒業証書をお渡しすることができました。

振り返ってみると、みなさんはコロナ禍の始まりとともに中学校に入学し、マスクと共に三年間を過ごしてきました。入学直後の二か月にも及ぶ臨時休業。感染予防のため外出もままならず、ただ自宅のみで過ごす毎日。せっかく中学校に入学したのに、新しい仲間と話すことも学び合うこともできない。どれほど不安な時を過ごしたことでしょう。やっと学校に通えるようになったのは、六月一日でした。しかし、その後三年間も「三密を避ける学校生活」が続くことになるとは、その時は、まだ誰も想像していませんでした。授業は対面を避ける前向き一斉授業。休憩時間もソーシャルディスタンス。給食は全員前を向いての黙食。マスクをしているために表情の変化が読み取れず、コミュニケーションの不足による不安と緊張、心が通わないもどかしさを感じながらの学校生活だったことでしょう。感染拡大防止のため、宿泊学習や部活動の大会等様々な行事は中止、そして縮小。式や集会も教室でのリモート参加が日常となりました。入学してからの2年間、学校ではこのような状況が続きましたが、みなさんは不平不満を表に出すことなく、我慢強く今できることに全力で取り組んでくれました。

そして、コロナ禍三年目となる今年度、感染による重症化率が低下したことを受けて、ウィズコロナの学校生活が始まりました。その第一弾は、修学旅行の完全復活です。地域・保護者のみなさまからの全面的な応援と協力をいただき、三年ぶりに広島・関西への修学旅行を再開することができたのです。バスや電車等の公共交通機関を使った京都の班別学習も予定どおりに行い、大きな満足感とともに全員が笑顔で帰ってくることができました。他校に先んじての実施となりましたが、「この子達なら必ずやってくれる」という三年生への厚い信頼があつての決断でした。

二学期開始早々の体育大会も、十月の合唱コンクールも、コロナ感染に気を配りながらも果敢に立ち向かい、三年生の力強いリードで、すばらしい成果を収めることができました。一つの行事を終えるごとに学校全体が落ち着き、生徒集団の成長が見て取れるようでした。かつてないほど学校運営が困難なこの時期に、雄山中学校がどっしりと落ち着き、成長することができた理由。それは君達三年生の安定感と信頼感、そして愛校心が下級生にしっかりと伝わっていたからです。行事のみならず、学業で部活動で生徒会活動で、逆境に挫けず地道に育て上げてきた揺るがぬ心「不動心」が、そして君達の優しさと温かさが全校生徒の気持ちを一つにまとめ、高めてくれたのです。卒業生のみなさん、コロナ禍の三年間、雄山中学校を支え成長させてくれたのは君達でした。本当にありがとう。

人類がコロナを克服しようとしている今、世界は、新たな試練にさらされています。一年前、ヨーロッパで起こった戦争が様々な形で世界に影響を与え、国際社会の秩序を大きく揺るがせているのです。戦場と化した街では、人々が今日もミサイルの攻撃による恐怖に怯えています。互いに殺し合うことを望む者などいないはずなのに、なぜ戦争はなくなるのか。そして、世界はどこに向かっていくのか。君達は、この人類の過ちと矛盾から目をそらすことなく、本当に平和な世界の実現を目指して、学び、考え、語り合い、身近なところから勇気をもって行動して行ってください。一人の力は小さくても、みなさんの生き方が、世界の平和と人類の幸福につながるものとなることを心から願っています。

いろんなことがあつた中学時代でしたが、これからの人生も同じです。山あり谷あり、時には道に迷い行き詰まることもあるでしょう。そんなつらいとき、思い悩むときは、雄山中学校で過ごした日々と仲間の顔、先生の顔を思い出してください。三年間、皆さんの成長とともにあつた雄山中学校は、これからもずっと皆さんの人生を見守り、一人一人の幸せを祈りながら、エールを送り続けています。

終わりにになりましたが、ご列席いただきました保護者の皆様。お子様のご卒業、誠におめでとうございます。マスクの着用に始まり、いろいろと我慢することの多かった中学三年間でしたが、ご家族の温かい関わりと励ましがあつたからこそ、このように立派に成長されたのです。これからも、自立に向けて歩いていく姿をしっかりと支えてあげてください。私も教職員一同、お子様のますますの成長と今後のご活躍を心からお祈りしております。

これまで本校の教育にお寄せいただいたご理解とご協力で深く感謝申し上げますとともに、今後も変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願いを申し上げて、式辞といたします。

令和五年三月十五日

立山町立雄山中学校 校長 高瀬 知郎